

算数科学習指導案

指導者 ○○小学校
教諭 ○○ ○○

- 1 単元名 分数
- 2 対象学年 第3学年
- 3 指導計画 11時間：本時9 / 11
- 4 本時の目標

分数の加法の計算の仕方について理解することができる。

5 学習過程

	学習活動・発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援が必要な子どもへの手立て (●) 【観点】評価規準〔評価方法〕
導入	<p>1 既習事項の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分数の表し方($\frac{1}{10}$が□こ分) <p>2 本時の課題を知る。 「問題について教えてください。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ジュースがパックに$\frac{3}{10}$L、ビンに$\frac{2}{10}$L入っています。あわせて何Lになりますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・図で確認する。 <p>「分数でもたし算はできるのですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実物で確認する。 <p>3 本時のめあてをつかむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2こ分、… ・分かっていることは「ジュースがパックに$\frac{3}{10}$L入っている」「ビンに$\frac{2}{10}$L入っている」ことです。 ・聞かれていることは「あわせて何Lになるか」です。 ・「あわせて」といっているのでたし算です。 ・式は$\frac{3}{10} + \frac{2}{10}$です。 ・答えは$\frac{5}{10}$Lです。 ・できるはず。 	<p>○単位分数いくつ分の考え方を想起できるよう、フラッシュ型教材を用いる。</p> <p>●課題に興味をもてるようまた、集中できるよう、実物を用いて現象を見せる。</p>
<p>めあて 分数のたし算の仕方を図・式・言葉で考えよう。</p>			
展開	<p>4 どのようにすると計算ができるか考える。</p> <p>「どうすれば計算で$\frac{5}{10}$Lを求められるか考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TPCで考え、ノートに計算方法を書く。 <p>①操作しながら1人で考える。 ②考えたことをノートに書く。 ③自分の考えをペアで説明しあう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・$\frac{3}{10}$は$\frac{1}{10}$が3こ分、$\frac{2}{10}$は$\frac{1}{10}$が2こ分です。3 + 2 = 5なので、$\frac{1}{10}$が5こ分で$\frac{5}{10}$です。 ・動かしてみたら$\frac{1}{10}$が5こ分になったので$\frac{5}{10}$です。 	<p>○課題解決のため、TPCには、液量図を用いたワークシートを用意しておく。</p> <p>●試行錯誤できるよう、液量図のワークシートではTPC上で単位分数を動かせるようにしておく。</p>

	<p>「発表しましょう。」</p> <p>5 学習のまとめをする。 「どのようにしたら分数のたし算を計算できそうですか。まとめましょう。」</p> <p>「分かったこと、分からなかったことを書きましょう。」</p> <p>6 適用問題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> • $\frac{2}{3} + \frac{1}{3}$の計算方法を考える。 • TPCに適用問題を用意しておき、単位分数を動かしながら考え、ノートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> • 数直線で考えると$\frac{1}{10}$が3こ分と2こ分で合わせて、$3 + 2 = 5$なので、$\frac{1}{10}$が5こ分で$\frac{5}{10}$です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>まとめ 分数のたし算は「何分の1 ($\frac{1}{\circ}$) がいくつ分」かを考えて、整数のたし算を使って計算すればよい。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> • $\frac{1}{3}$が2こ分と1こ分で合わせて3こ分なので、$\frac{3}{3}$です。 • 3等分した3こ分だから1と同じ。 	<p>【思考】単位分数の何こ分かで考えると、整数と同じように分数の加法の計算ができることを式や図を用いて考え、説明したりまとめたりしている。〔発表、ノート〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○めあてに沿ったまとめになるよう、めあてを確認する。 ●実際に液体が入った容器の目盛りを見せ、$\frac{5}{10}$Lとなることを確認する。 ●量感をもって理解できるように、$\frac{5}{20}$Lと$\frac{5}{10}$Lのかさの違いをIWBに示す。 <p>○$\frac{1}{3}$は3等分した1こ分であること、分母と分子の数が同じときは1であることを確認する。</p> <p>○問題を解くペースが異なるため、TPCに適用問題、チャレンジ問題を用意し、各自のペースで進めることができるようにする。</p> ●理解が難しい児童のために、TPCの適用問題にはヒントとして液量図を用意しておく。 <p>【知識】分数の加法の計算の仕方を理解している。〔発表、ノート〕</p>
<p>まとめ</p>	<p>7 振り返りを行う。 「振り返りをしましょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • まとめの時はよく分からなかったけど、問題を解いたらできた。 • 分子同士を足せば簡単にできた。 	

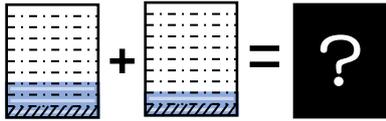
6 板書計画

分数

めあて

分数のたし算の仕方を
図・式・言葉で考えよう。

ジュースがパックに $\frac{3}{10}$ L, ビ
ンに $\frac{2}{10}$ L 入っています。あ
わせて何L になりますか。

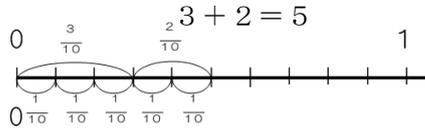


しき $\frac{3}{10} + \frac{2}{10} = \frac{5}{10}$

答え $\frac{5}{10}$ L



$\frac{3}{10}$ L $\frac{2}{10}$ L $\frac{5}{10}$ L
 $\frac{1}{10}$ L が 3つ分 $\frac{1}{10}$ L が 2つ分 $\frac{1}{10}$ L が 5つ分



$\frac{3}{10}$ は $\frac{1}{10}$ が 3こ分

$\frac{2}{10}$ は $\frac{1}{10}$ が 2こ分

合わせて

$\frac{1}{10}$ が 5こ分で $\frac{5}{10}$

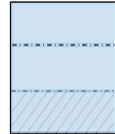
何分の1が何こ分

まとめ

分数のたし算は「何分の1
($\frac{1}{\text{〇}}$) がいくつ分」かを考え
て、整数のたし算を使って計
算すればよい。

①②

1 $\frac{2}{3} + \frac{1}{3}$



$\frac{1}{3}$ が 2こ分と

1こ分で $\frac{3}{3}$ 。

1L を 3等分した
3こ分なので 1。